

## 山口県医師確保計画の進捗状況について (令和7年度の取組状況)

### 1 医師少数区域等への医師の効果的な配置

地域枠医師(医師修学資金貸与者)及び自治医科大学卒業医師について、医師少数区域等に所在する公的医療機関等への派遣調整を行った。

#### (1) 地域枠医師(医師修学資金貸与者)

令和7年2月5日に開催した、県医療対策協議会での協議に基づき、令和7年度の勤務先を決定した。

##### 【医師修学資金貸与者の配置状況】

貸付区分	対象者数	勤務先(人数)
緊急医師確保対策枠	34人	周東総合病院(4)、柳井医療センター(1) 徳山中央病院(4)、山口赤十字病院(1) 県立総合医療センター(2)、美祢市立病院(1) 山大附属病院(7)、宇部中央病院(1) 済生会豊浦病院(2)、豊田中央病院(1) 長門総合病院(9)、都志見病院(1)
地域医療再生枠	53人	岩国医師会病院(1)、周東総合病院(2) 新南陽市民病院(1)、徳山中央病院(3) 山口赤十字病院(2)、済生会山口総合病院(2) 小郡第一総合病院(1)、県立総合医療センター(5) 山陽小野田市民病院(1)、美祢市立病院(1) 山口労災病院(1)、山大附属病院(24) 宇部中央病院(2)、済生会下関総合病院(1) 下関市立市民病院(1)、関門医療センター(1) 下関医療センター(1)、長門総合病院(2) 萩市民病院(1)
特定診療科枠・外科枠	12人	徳山中央病院(3)、県立総合医療センター(1) 山大附属病院(4)、済生会下関総合病院(2) 済生会豊浦病院(1)、長門総合病院(1)
県外医学生支援枠	2人	徳山中央病院(1)、山大附属病院(1)
旧地域枠(※)	9人	岩国医師会病院(1)、周東総合病院(1) 県立総合医療センター(2)、山陽小野田市民病院(1) 山大附属病院(2)、関門医療センター(1) 下関医療センター(1)
合計	110人	

##### 【地域枠医師の勤務開始年(推計)】

(単位:人)

勤務開始年	～R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	計
緊急医師確保対策枠	29	7	4	6	5	5	5	5	5	5	76
地域医療再生枠	53	13	8	9	10	8	14	8	12	10	145
重点医師確保対策枠								2	2	2	6
特定診療科枠・外科枠	52	2	2	2		1	2	3	1	1	66
県外医学生支援枠	4	1			1						6
旧地域枠	13										13
小計	138	23	14	17	16	14	21	18	20	18	312
自治医科大学卒業医師	92	3	1	4	2	2	3	3	2	3	115

資料: 県医療政策課調査(令和8年(2026年)2月現在)

※旧地域枠: 2007年度～2009年度に、山口大学医学部推薦入試「地域枠」入学者を対象に募集・貸付を行った医師修学資金。

## (2) 自治医科大学卒業医師

各市町からの派遣要望、当該医療機関における医師の配置状況、外来患者数、近隣の医療機関の状況等を総合的に勘案して、義務年限内の医師を「へき地診療所」や「へき地病院」へ派遣している。

### 【自治医科大学卒業医師の状況】

(R8.1 現在)

区分		人数	摘要
義務内	本県出身医師	25 人	
	へき地の公的医療機関等	13 人	
	へき地外の公的医療機関等	0 人	
	県外勤務	2 人	婚姻協定による県外勤務(埼玉県・佐賀県)
	研修中(県総合医療センターほか)	10 人	臨床研修 5 人、後期研修 5 人、
	他都道府県出身医師	2 人	
	県外勤務	2 人	婚姻協定による県外勤務(山梨県・埼玉県)
	計	27 人	

## 2 本県医療を担う医師・医学生の確保

### (1) 医師修学資金の貸付

医師修学資金の貸付により、県内の公的医療機関等で勤務する医師の確保に努めている。

#### 【山口県医師修学資金の概要(令和7年度(2025年度)募集)

区 分・対象者	貸付金額	貸付期間	貸付枠	返還義務免除条件
緊急医師確保対策枠 山口大学医学部推薦入試 「緊急医師確保対策枠」入学者	月額 20万円	6 年	5 人	9 年間(うち 4 年間は過疎地域の病院)、知事指定医療機関に医師として勤務
地域医療再生枠 山口大学医学部推薦入試 「地域医療再生枠」入学者	月額 15万円	6 年	10 人	9 年間、知事指定医療機関に医師として勤務
重点医師確保対策枠 山口大学医学部推薦入試 「重点医師確保対策枠」入学者	月額 15万円	6 年	2 人	9 年間、知事指定医療機関に特定診療科(小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、放射線治療科、病理診断科、呼吸器内科、総合診療科、外科)の医師として勤務
特定診療科枠・外科枠 県内出身の医学生 (1～6 年生)	月額 15万円	6 年 以内	8 人	貸付期間の 1.5 倍の期間、知事指定医療機関に特定診療科(小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、放射線治療科、病理診断科、呼吸器内科、総合診療科、外科)の医師として勤務
自治医科大学枠 県内出身の医学生 (1～6 年生)	月額 5 万円	6 年 以内	16 人	貸与期間の 1.5 倍の期間、知事指定医療機関等で医師として勤務

#### 【貸与者の状況】

(R8.1 現在)

区分	総 数	特定診療科枠・外科枠									県 外	旧 地 域	緊 急	地 域 再 生	重 点	自 治
		小	産	麻	救	放	病	呼	総	外						
貸与者	325	21	11	9	3	2	0	0	3	17	6	13	76	145	6	13
勤務医	174	16	11	9	2	1	0	0	0	15	5	13	36	66	0	0
臨床研修医	34	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	10	17	0	2
学生他	117	2	0	0	0	1	0	0	3	2	0	0	30	62	6	11

## (2) 山口大学医学部における地域枠の設置・増員

令和2年度(2020年度)入学者から、大学が独自に設定している「地域枠(県医師修学資金貸与と連動しない医学部推薦入試)」が増員(15人→22人)された。

なお、令和5年度(2023年度)は医学部の臨時的な定員増に対応した「重点医師確保対策枠」を新設したところであり、令和7年度の医学部臨時定員については令和6年度末を期限とする医学部入学定員の臨時増員の枠組みを1年間延長することとされている。

【山口大学医学部入学定員の推移】

(単位：人)

年 度		H18 (2006)	H19 (2007)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H28 (2016)	R2 (2020)	R5 (2023)
定 員 (A+B+C)		95	95	105	114	117	117	117	119
内 訳	A 一般入試	75	65	70	66	67	70	65	65
	うち後期日程：地域枠(県内出身者に限る)							3	3
	B 推薦入試	10	20	25	38	40	37	42	44
	全国枠	10	10	10	10	10	7	5	5
	地域枠(県内出身者に限る)		10	10	15	15	15	22	22
	緊急医師確保対策枠(※)			5	5	5	5	5	5
	地域医療再生枠(※)				8	10	10	10	10
	重点医師確保対策枠(※)								2
	C 学士編入	10	10	10	10	10	10	10	10
	うち地域枠(県内出身者に限る)	3	3	3	3	3	3	3	3

※平成30年度(2018年度)以降は、県内出身者に限る

## (3) 県内定着を促進するキャリア形成支援

県と山口大学が連携して設置する「地域医療支援センター」において、貸与者への各種セミナーや勉強会、随時の相談対応を通じた在学中から卒後まで一貫したキャリア形成支援を行っている。

## (4) 自治医科大学卒業医師の養成・確保

自治医科大学で計画的に医師を養成し、へき地医療を担う医師の確保に努めている。

・令和7年度入学者：3名

## (5) 地域医療に対する理解の促進

県、関係市町、県立総合医療センター、山口大学、山口県立大学、山陽小野田市立山口東京理科大学等が連携して「地域医療セミナー」を、県内10市町で開催した。

・やまぐち地域医療セミナー2025

開催日：令和7年8月4日(月)～8月27日(水)

開催市町：岩国市、柳井市、周防大島町、上関町、周南市、山口市、美祢市、下関市、長門市、萩市

参加者：のべ80名

## (6) 地域医療を支える医師確保の促進

医師専門人材紹介会社を活用して、へき地医療拠点病院などに医師を新たに確保し、医師が不足しているへき地等にある医療機関に派遣する仕組みを構築した。



## (7) 地域医療を支える意識の醸成

医学部を志望する県内高校生が、医療現場や地域医療の担い手に触れる機会となる「地域医療セミナー」をオンラインで開催した。

- ・やまぐち地域医療セミナー2025高校生セミナー

開催日：令和7年8月4日（月）実地開催（山口市）

令和7年12月14日（日）、12月19日（金）オンライン開催

参加者：のべ28名（高校生のみ）

## (8) 高齢医師の活躍の促進

ドクターバンクやまぐち（医師無料職業紹介事業）を活用し、地域医療で活躍できるよう、取り組んでいる。

## 3 臨床研修医の確保

### (1) 研修推進体制の整備

県や県医師会、山口大学医学部附属病院をはじめとする県内の臨床研修病院が一体となって「山口県医師臨床研修推進センター」を設置し、臨床研修医の確保及び研修体制の整備に取り組んでいる。

### (2) 臨床研修病院における研修実施体制の充実

研修を受ける指導医への助成等に取り組んでいる。

### (3) 臨床研修医の確保

合同説明会を開催するなど、臨床研修医の確保に努めている。

- ・県内臨床研修合同説明会

開催日時：令和7年7月4日（金）17時30分～20時

参加者：県内15臨床研修病院 医学部生72名

- ・レジナビフェア福岡（現地開催）

開催日時：令和7年5月18日（日）

- ・レジナビフェア東京（現地開催）

開催日時：令和7年6月29日（日） 等

【マッチングの推移】

研修開始年度	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
定員(人)	121	121	121	125	123	133	131	129	131	129	123
マッチ数(人)	84	85	89	87	88	86	98	97	72	99	85
マッチ率(%)	69.4	70.2	73.6	69.6	71.5	64.7	74.8	75.2	55.0	76.7	69.1
採用者(人) (翌年度)	75	80	88	84	96	95	99	105	84	105	-

#### 4 専門医の養成

##### (1) 専門研修推進体制の整備・充実

県や県医師会、市町、専門研修プログラム基幹施設等で構成する「山口県医療対策協議会専門医制度部会」を設置し、臨床研修後、引き続き県内で専門医を目指す専攻医の確保に努めている。

- ・山口県医療対策協議会専門医制度部会の開催

令和7年度：第1回 令和7年8月7日 第2回 令和8年3月開催予定

また、臨床研修医等を対象に、県内の専門研修プログラムを紹介する説明会をオンラインにより開催した。

- ・専門研修合同説明会inやまぐち

開催日時：令和7年8月30日(土) 18時10分～18時50分

参加者：13プログラム 臨床研修医40名

【県内の専門研修プログラムへの2次登録状況】

領域名	山大	岩国 医療C	徳中	県総	日赤 山口	こころ 医療C	山口 労災	下関 医療C	R8 計	R7 計
内科	13( 35)	3( 6)	-	-	3(3)	-	-	-	19(44)	22(44)
小児科	4( 8)	-	-	-	-	-	-	-	4( 8)	4( 8)
皮膚科	0( 6)	-	-	-	-	-	-	-	0( 6)	1( 6)
精神科	6( 6)	-	-	-	-	1(2)	-	-	7( 8)	3( 8)
外科	5( 20)	-	-	-	-	-	-	-	5(20)	5(20)
整形外科	3( 8)	-	-	-	0(2)	-	0(4)	-	3(14)	7(14)
産婦人科	3( 5)	-	-	0( 4)	-	-	-	-	3( 9)	3( 9)
眼科	4( 4)	-	-	-	-	-	-	-	4( 4)	4( 4)
耳鼻咽喉科	1( 5)	-	-	-	-	-	-	-	1( 5)	1( 5)
泌尿器科	2( 6)	-	-	-	-	-	-	-	2( 6)	5( 6)
脳神経外科	2( 8)	-	-	-	-	-	-	-	2( 8)	2( 8)
放射線科	4( 10)	-	-	-	-	-	-	-	4(10)	1(10)
麻酔科	2( 8)	-	-	0( 4)	-	-	-	-	2(12)	1(12)
病理	0( 1)	-	-	-	-	-	-	-	0( 1)	0( 1)
臨床検査	0( 1)	-	-	-	-	-	-	-	0( 1)	0( 1)
救急科	2( 5)	-	0(3)	0( 2)	-	-	-	-	2(10)	3(10)
形成外科	1( 3)	-	-	-	-	-	-	-	1( 3)	0( 3)
リハ科	1( 3)	-	-	-	-	-	-	-	1( 3)	1( 3)
総合診療	1( 5)	0( 2)	0(2)	1( 4)	-	-	-	0(1)	2(14)	2(14)
合計	54(147)	3( 8)	0(5)	1(14)	3(5)	1(2)	0(4)	0(1)	62(186)	65(186)

※医療政策課調べ(JMSB オンラインシステムより)

( )は募集定員

## **(2) 総合診療医の養成・確保**

へき地医療において重要な役割が期待できる「総合診療専門医」の研修プログラムの魅力向上を図るとともに、専門医取得後の医師を対象とした「フェローコース」の設置を進め、へき地の医師確保・定着に取り組んでいる。

## **5 医業承継の推進**

地域医療提供体制の確保のため、医業譲渡を希望する診療所等と医業譲受を希望する医師のマッチング等を支援している。

## **6 勤務環境の整備**

### **(1) 勤務医の勤務環境の改善**

令和6年(2024年)4月から適用された、医師の時間外・休日労働時間の上限規制を踏まえ、勤務医等の処遇改善や、仕事と家庭の両立ができる勤務環境の整備に取り組む医療機関への助成を行い、その取組を促進している。

また、県が設置している「医療勤務環境改善支援センター」によるアドバイザー派遣等により、医療機関における勤務環境改善の仕組みづくりを支援している。

### **(2) 子育て世代の医師のキャリア形成支援**

山口大学と連携し、出産等により一時的に離職した女性医師の復職を促進するとともに、女性医師のライフサイクルに応じたキャリア形成等を支援している。

また、保育相談員を設置し、県医師会が運営する「保育サポーターバンク」との連携による育児支援を行い、女性医師の離職防止や再就業の促進を図っている。

### **(3) 情報通信技術の活用支援**

県内の医療機関におけるデジタル技術活用の加速化を支援し、へき地の医療機関等がサポートを受けられる体制構築を促進している。

## **7 情報発信等**

### **(1) 様々な情報媒体を活用した情報発信**

- 山口県医師確保総合情報サイト「やまぐちドクターネット」の運営  
登録者に対しメールマガジンの配信（年6回程度・隔月）
- 医学生向けポータルサイトへの臨床研修病院PR広告の掲載
- 情報誌の発行等  
臨床研修・専門研修ガイドブックの作成・配布

### **(2) 県外医師の県内就業の促進**

ドクターバンクやまぐち（医師無料職業紹介事業）により、県外医師の県内就業に取り組んでいる。

また、県外医師等を県職員として採用し、医師の確保が困難なへき地の公的医療機関に派遣する「ドクタープール」制度を活用し、へき地で勤務する医師の確保に取り組んでいる。

## 8 産科医・小児科医

- 医師修学資金の特定診療科枠に産婦人科・小児科を指定し、修学資金の貸与や県地域医療支援センターにおけるキャリア形成支援等の取組等を通じ、周産期医療、小児医療を担う医師の養成・確保に努めている。
- 産科医・小児科医の処遇を改善するため、分娩手当や産科専攻医への手当、新生児医療担当医への手当を支給する医療機関への補助を実施している。
- 代診医の確保や女性医師にも対応した勤務環境改善等の支援を行っている。

【勤務開始した医師数（令和7年4月時点）】

（単位 人）

区 分	緊急医師確保対策枠	地域医療再生枠	特定診療科枠	旧地域枠	計
産婦人科	1	4	11	2	18
小児科	4	4	17		25